

聖人一流章（五帖第十通）

聖人一流の御勸化のおもむきは、信心をもって本とせられ候、  
そのゆえは、もろもろの雑行をなげすて、一心に弥陀に帰命す  
れば、不可思議の願力として、仏のかたより往生は治定せしめ  
たまう、その位を、一念發起入正定之聚とも釈し、そのうえの  
称名念仏は、如来わが往生を定めたまひし、御恩報尽の念仏  
と、こころうべきなり、

あなかしこ      あなかしこ

## 聖人一流章の大意

親鸞聖人のひらかれた浄土真宗のみ教えでは、信心が根本です。そのわけは、自力のはからいを捨て、一心に阿弥陀如来に帰命すれば、思いも及ばないすぐれた本願のはたらきによって、如来が私たちの往生を定めてくださるからです。

往生が定まったその位を、「一念発起入正定之聚」と示されています。そして信心を得た後に称える念仏は、如来が私の往生を定めてくださったご恩を報じる念仏であると心得るべきです。